

NPO 自立支援センター ふるさとの会

2006.7.20
【第7号】

これはHTML形式
のMAILです。
オンラインで無い場合
は画像が表示され
ない可能性があります。

HOME PAGE

SCHEDULE

EVENT etc

※ふるさとの会のメールマガジンをご愛読いただき、誠にありがとうございます。
今後もふるさとの会の活動内容を定期的に情報発信させていただきたいと存じます。
ご不要の場合はお手数ですがご返信くださいますようお願いいたします。

INDEX

1. 地域支援センター江戸博ツアー
2. ホームレス自立支援システムの研究 刊行
3. 北九州研修のご報告
4. いよいよ夏祭り決定
5. 今月のボランティア募集

1.地域支援センター江戸博ツアー

7月12日(水)、利用者・スタッフ合わせて総勢62名で国立江戸東京博物館へ行ってきました。当時の人々の暮らしに思いを馳せて、短い時間でしたがたっぷり歩き回りました。
今年4月から毎月開催しているイベントを、毎回楽しみにしてくれる常連さんも増えてきています。このコーナーでもお馴染みになりました、移行支援事業・さんからの感想をご紹介します

曇り空の中、大江戸東京博物館へ、ご存知のことと思いますが、行ってまいりました。
チケットをわたして入ると日本橋が目に入ってくる。橋をわたればもうそこは夢の世界。
銀行あり、そこに入って金をおろそうとおもっても明治の銀行ではおろしようがない。
芝居小屋もある。江戸時代の役者じゃわからないよー

江戸の長屋、そしてその頃の土木作業をしている所いろいろあったけど、
なんといっても昭和の展示物がなつかしく思われたのではないのでしょうか。

過去にもどれるなら、会いたい人に会いたいですよね。

そう思う人も何人かいるのでは、若かった頃の青春の1ページを思い出した人もいるのではないですか。

それでは又、次のイベントを楽しみにしましょう。



集合写真 ハイチーズツ☆☆☆



次回のイベントは毎年恒例の夏祭りです！お楽しみに～(*^-^)/♪

(地域支援センターすみだ 橋本怜奈)

2.ホームレス自立支援システムの研究 刊行

自立支援センターふるさとの会理事であり、ボランティアサークルふるさとの会世話人でもある、麦倉哲東京女学館大学教授著、ふるさとの会編による『ホームレス自立支援システムの研究』が、本年5月上梓されました。日本のホームレス問題の本質、実態や、ボランティアによる支援、そして、行政やNPOの事業としての自立支援など、自身がボランティアとしてまたNPOの理事として、長年この問題に深く関わってきた著者ならではの視点で著されています。

著者の言葉

今年の3月、12年間お付き合いしてきた元ホームレスの女性が亡くなりました。路上で出会い、病院訪問を重ねた結果、アパート自立へと結びつけることができました。住が安定すると本人は自分なりの生きがいを見出すようになりまし

た。

ホームレス生活に至った人びとのことをもっと知ろうと考え、数々の調査を設計し、実践し、その成果から自立支援のサービスを組み立ててきたのはボランティア団体です。本書には、調査と支援ならびに政策提案に関する、ふるさとの会の18年間の歴史が、著者の人生の年輪とともに、織り込まれています。どうか、ご一読ください。

— 著者、ふるさとの会理事、ボランティアサークル世話人、麦倉哲（東京女学館大学教授）

購入ご希望の方は、自立支援センターふるさとの会事務局ウラベまでお問い合わせ下さい。なお、メールマガジン購読者には、税込み3800円のところ、2割引の3000円でお求めいただけます（恐れ入りますが、送料はご負担下さい）。是非この機会に、お求め下さいませ。

自立支援センターふるさとの会事務局 TEL:03-3876-8150

3.NPO法人北九州ホームレス支援機構研修レポート

6月28日から7月1日で北九州ホームレス支援機構(以下、北九州支援機構)にて「自立支援プログラムについて・施設見学等」の研修を行い、就労支援事業部から6名が参加しました。

○自立支援システムについて

北九州支援機構の特色は、活動展開によるトータルサポートシステムです。

第一に「炊き出し(手作りのお弁当を出したり、散髪など)」。

第二・四金曜日(越冬期12-2月は毎週)行われています。また、関係作りやホームレスの方の状況把握などアセスメントも欠かさないとのことでした。この情報(個々のデータ)を基に自立支援センターへの入所につながっていきます。

第二に「自立支援センター」への入所があります。巡回相談事業にも関わってくるのですが、入所には巡回相談担当職員の推薦・役所への定期来所・5者間協議を経て決定されるということです。炊き出しからの関係がそのまま自立支援センターでの関わりに直結しているとのことでした。

第三は「自立生活サポートセンター」です。自立支援住宅の見学、なごみ(自立支援住宅屋上の集会所)での研修を行いました。まず、自立支援住宅は一棟のうち12部屋2~4階を使用。見学した部屋は2Kと広めでした。「なごみ」では年3回ほどの交流会も催しており、ご飯を食べたりゲームをしたりその中で音楽セラピーや体操等をプログラムとして盛り込んでいたり、またカンパで集められた服などの仕分けを皆で行い入居者間の仲間意識など関係性を深めていき、ひきこもり(……)(孤立)させないという意識が強く伝わってきました。

今回の研修を終えて考えたのが、事業間同士の連携・支援プログラム(ソフト)の多様性・区切りの無い体制のそれぞれの重要性でした。事業規模・内容・活動人員は言うまでもありませんが、就労自立に焦点を当てると一拠点にそれぞれのソフトを持ち込みケアしていく形態は、ふるさとの会で進められている「就労支援型自立援助ホーム(就労合宿)」に近いのではないかと考えます。

学ぶべきことが多く、例えば「関係性を切らない」という言葉に北九州支援機構の強さを見ることができました。日々の活動の中でシステムの違いで制約はあるものの自分は果たしてどこまで関わっていたのか？ふるさとの会の他事業との関わりはどうか？など沢山のことを気付かされた研修でした。

全体研修での話のホームレス層の移り変わりを前線で感じられる技能講習事業で利用者に対してどう関わること(ニューなど)が出来るのか常に模索しながら活動していきたいと思っています。

(技能講習St. 柏倉 慎次)

4.夏祭りのお知らせ

今年の梅雨は、格別に長く感じられますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

毎年多くの皆さまのご協力により開催してまいりました“山谷夏祭り”を、今年は8月19日(土)・20日(日)に開催する運びとなりました。この夏祭りも今年で30回目を数えます。例年通り、高野山別院から僧侶においでいただき、追悼法要を執り行うとともに、炊き出しや屋台、ステージイベントなど、地域の方々と一緒に楽しめるような祭りにしたいと、ボランティア世話人ならびに担当職員一同張り切っております。

ここまで継続してこられたのも、ひとえに皆さまのご支援の賜物と心から感謝しております。今年も、皆さまの善意をぜひともお寄せいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

ご寄付・ご参加のお願い

夏祭りは、ボランティアサークルふるさとの会が中心になって、毎年開催しています。ボランティアとしての参加、財政支援、米や調味料のカンパなど、大募集しております。ボランティア活動には、前日準備やチラシ配り、炊き出し準備など半日からご参加いただけます。お気軽にお問い合わせ下さい。

ボランティアサークルふるさとの会 担当:敬老室 尾竹

TEL&FAX:03-3801-0881

E-MAIL:volunteer-circle@lime.ocn.ne.jp

ご寄付振込み先:郵便振替口座 00260-5-63218 ふるさとの会



2004年 山谷夏祭り

5.今月のボランティア募集

来月は、夏祭りがあるため毎月行っている地域支援事業部とボランティアグループ合同のイベントはお休みです。
 今年で30回目を数える夏祭りでは、一緒に祭りを作り上げてくれるボランティアさんを大募集いたします。
 ボランティア希望の方は、ボランティアサークルふるさとの会 担当:敬老室 尾竹
 TEL&FAX 03-3801-0881までお気軽にご連絡下さい！

発行元: 特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会
 〒111-0031 東京都台東区千束4-39-6
 TEL: 03-3876-8150 FAX: 03-3876-7950